

ちどり幼稚園保護者様

学校法人川尻学園ちどり幼稚園  
園長 佐藤恒次

## 自己評価の実施について

令和6年2月21日、ちどり幼稚園会議室に於いて学校関係者評価委員会による評価を実施したところ、下記のような結果になりましたので、報告いたします。

## 令和5年度教育活動に対する学校評価

1. 幼稚園の教育目標 心豊かでたくましい子
2. 本年度の重点目標 “5つのいっぱい”と“育てたい10の力”を関連づけながら『外』と『内』の活動を深める
3. 自己評価と反省、また、それに対する学校関係者評価及び今後の課題

## 幼稚園経営

A はい B だいたいあてはまる C あまりあてはまらない D いいえ

	内 容	職員	評価委員
1	園の教育理念や教育方針を理解している	A	A
2	活動に具体的なねらいを設定し、子どもたちが達成感を感じながら取り組めるよう指導している	A	A
3	相手の思いに気づいたり、周囲の人に感謝できる子が育つよう関わりを心がけている “廊下を走らない”姿を、思いやりの気持ちと関連づけながら具体的に指導している	A	A
4	子どもたちの“不思議”への気づきや、発見へのきっかけづくりができるよう環境を工夫し、意図的なはたらきかけを行うとともに“ちどりっこ農園”“ふれあい花の道”“ビオトープ”“広場”などの自然体験を通した活動を積極的に取り入れている	B	A
5	元気よくあいさつできる子が増えるよう積極的にはたらきかけている	A	A
6	食べ物に興味をもち、楽しく食事ができるような雰囲気づくりを心がけている	B	A
7	分掌において自分で考え積極的に取り組むことができる	B	B

反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下を走ってしまう子へは、その都度声かけをしたことで意識できる子どもが増えてきたが、持続することが難しいため工夫が必要。</li> <li>あいさつが自分から進んで言える子はまだ少ないため声かけをしていきたい。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境（ちどりっこ農園・ビオトープ・ちどりっこ広場）が整っていてその場所に行くだけで様々な経験ができて良いと思う。</li> <li>安全面の配慮に十分気をつけながら活動して行って欲しい。</li> <li>農園で育てた野菜を収穫するだけでなく、子どもたちが調理して食べるなど子どもたちが喜んで取り組んでいて良い。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつは保護者の理解や協力をもらいながらできるようにしていきたい。</li> <li>食べ物に興味をもたせるには園だけでなく、家庭での協力が必要なため呼びかけていくことも大切。</li> <li>あいさつや廊下を走らないは、継続的な指導が必要。</li> </ul>

## 保育の計画性

	内 容	職員	評価員
1	子どもたちの姿を教育目標に近づけるために、願いや意図を明確にして環境構成をしている	A	A
2	保育の評価・反省を行い、次の保育につなげている	B	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの育ちを十分理解し、保育者が先の見通しを持って保育を進めていくことが大切であるが、経験の差があり大変だと感じることもあった。</li> <li>次の学年を意識し、いろいろな経験ができる機会を増やすことができた。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生たちが自分に厳しい評価をしているのでBという評価になっていると思う。</li> <li>研究保育や行事を見に来てもらう頑張りや頑張っている様子が見られるのでAという評価で良いと思う。</li> <li>日々の保育を行う際に、今日はここまでという目標を持つことで振り返りもしやすくなると思うのでやってみるのもひとつの方法である。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りや反省することが改善につながっていくので、各自が1日の終わりに振り返りできるよう努力していきたい。</li> <li>子どもの実態を知ること、目指す子どもの姿が見えてくるので、子ども理解をしっかりとしていくことが必要。</li> </ul>		

## 保育の在り方・幼児への対応

	内 容	職員	評価員
1	子どもたちが健康で安全に過ごせるよう、十分な配慮をしている	A	A
2	子どもの姿をよみ取りながら、発達に応じた適切な指導を行っている	B	A
3	教師同士が協力しあったり、意見を交換しあったりしながら共通理解をもって対応している	B	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人一人に向き合えるよう心掛けた。</li> <li>発達や性格を理解しその子にあった声かけをすることができた。</li> <li>子どもの安全について常に園内で繰り返し確認することで意識が高まってきたことは良い。</li> </ul>		

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達の違いが大きくそれに合った指導・支援が難しくなっていると思います。</li> <li>今の時代、保護者や子どもが変わってきて大変だと思いますが、研究保育などを見るとお話をきちんと聞いている様子が見られるのでこれからも頑張っていってください。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その場所・その時に応じた援助ができるよう職員それぞれのスキルアップを目指していきたい。</li> <li>・安全面への配慮は継続し、また保育者同士共通理解していけるよう努力したい。</li> </ul>

## 教師としての資質や能力・良識・適正

	内 容	職員	評価員
1	自分自身の行動が、子どもたちに大きな影響を与えていることを意識し、言動・行動に常に気をつかうよう心がけている	A	A
2	組織の一員であることを自覚し、守秘義務の遵守や、職員同士が信頼しあえる関係を築くための配慮をしている	A	A
3	保育のためのアイデアやヒントを得るため、アンテナを高くし環境と関わったり、情報を得たりする努力をしている	A	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者間で意見を出し合うことでより良いアイデアを出し保育に取り入れていくことができた。</li> <li>・若手のフォローやアドバイスがうまく伝わらないことがあり難しいと感じることがあった。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回先生たちが工夫し研究保育に取り組んでいて、子どもたちも楽しそうに活動している様子が見られて良かった。</li> <li>・若い先生たちも、経験ある先生たちも頑張っている様子が見られた。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの職員がもつ良さを出し、生かしながら共に上を目指していくことが大切。</li> </ul>		

## 保護者への対応

	内 容	職員	評価員
1	園の方針を理解し、保護者に理解してもらうための努力・工夫をしている	B	A
2	情報を発信するときは、個人・クラス・園全体というさまざまなケースを慎重に見極め、場合によっては園長・主任に相談したうえで適切に対応している	A	A
3	“親しみ”と“馴れ合い”を混同することなく、教育者らしい態度で保護者との関係を築くことを心がけている	A	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士のトラブルで保護者に不安を与えてしまう事があったため安心してお子さんを預けられるよう気を付けて見ていきたい。</li> <li>・保護者の考え方や受け取りが多様化してきて、どのように伝えるべきか悩まされることが多くあった。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者もいろいろになってきて大変だと思うが頑張りたい。</li> <li>・保護者アンケートを見ると、園の活動や取り組みに満足しているようなのでA評価で良い。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対して、丁寧な対応や説明をすることで園の方針にも理解が得られるよう努めていきたい。</li> </ul>		

## 地域の自然や社会とのかかわり

	内 容	職員	評価員
1	幼稚園での生活が、小学校生活の基盤になることを意識し、小学校の教育内容について意識しようとしている	B	A
2	子どもたちの生活は、地域社会や身近な自然、家庭、園生活がひとつづきのもので、連続性をもちながら成り立っていることを意識し、直接的・具体的体験ができるよう活動内容を工夫している	B	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児が保育園さんと交流会をしたりミニ遠足で一緒に遊んだりする機会を持つことができて良かった。</li> <li>・自然とかかわる中で五感が刺激される活動を取り入れることができて良かった。</li> <li>・ビオトープや広場での活動時間が十分とることができなかった。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生たちの意識がもっとできていると感じているようなので評価はBとします。これからももっと頑張っていって欲しいです。</li> <li>・話を聞く姿勢ができていますので小学校にいてもそのまま継続していけると良い。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保幼小連絡会などで小学校の取り組みについて学んできたことを職員で共有していきたい。</li> </ul>		

## 研修と研究

	内 容	職員	評価員
1	研修会や研究会には自己課題を持って参加できた	B	A
2	常に質の高い教育の実践を求め、与えられた研修に義務的に参加するだけでなく、自己課題を持っての研修・研究を重ねた	B	B
3	モンテッソーリ教育への理解を深め、援助者としての接し方が身に着くよう努力した	B	A
4	幼小の円滑な接続を意識し、幼児教育カリキュラムに基づいた実践が出来るよう、前向きな姿勢で研修に取り組んだ	B	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の研修に出させてもらうことで、改めて自分の保育を振り返り、またたくさんのことを学ぶことができた。</li> <li>・モンテッソーリ教育についての学びが不十分と感じることがある。</li> <li>・日々の保育や研究保育などでモンテッソーリ教育とつなげて考えることができた。</li> <li>・園内研修では、10の姿の重点目標を持って1年間進めているが振り返りの時間を十分とることができなかった。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンテッソーリ教育は子どもたちが好きで楽しみに取り組んでいる様子が感じられる。また教具も増え充実してきていて良い。</li> <li>・若い先生たちも保育について理解が深まってきたことで厳しい評価をつけているように思うので頑張っていって欲しい。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を伝え合い、また考える機会をもつことでお互いが高められるよう努力したい。</li> <li>・外部の研修で学んできたことを園内研修で伝え合いお互いの学びにつなげていくことも必要。</li> </ul>		

## 分掌

反省	<ul style="list-style-type: none"><li>・学年で育てている野菜が虫に食べられてしまったり、暑さなどで枯れてしまい十分気をつける必要があった。</li><li>・仕事をもっと効率よくできるようにしたいと感じる。</li><li>・子どもが安全に遊べる場所となるよう点検や見回りをすることができた。</li></ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・大変なこともあると思うが、これからも安全が守られるよう、環境を整えていって欲しい。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・分掌においては、それぞれの職員が目標・責任をもって取り組んでいくことが大切。</li></ul>

## その他

反省	<ul style="list-style-type: none"><li>・わからないままにしてしまい他の職員に迷惑をかけてしまうことがあった。</li><li>・園内の壁面や掲示物など職員みんなが意識できるようになり明るい雰囲気を作ることができた。</li></ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・若い先生は何を聞いたらいいかかわからない所もあると思うので、その辺も自分で判断できるようになっていけると良い。</li><li>・若い先生・中堅の先生・ベテランの先生とそれぞれがいてバランスがとれていて良い。</li><li>・同期の先生がいることで相談しやすい部分もあって良い。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員間で、何でも話せる雰囲気や時間を作れるよう努力していきたい。</li><li>・限られた時間の中でいかに効率よく仕事をすすめていくことができるかが課題である。</li></ul>